

広州倉福塑料
有限公司
を紹介します!

面白がりクラボウ人

「仕事を面白がる」とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。この企画では「この人こそ面白がって仕事をしてる!」と思う人を紹介してもらいます。

関係会社編

面白がり
クラボウ人



タオ アイクノオ
陶愛国さん
広州倉福塑料有限公司
品質・技術部保全課
(2013年入社)

「面白がり」6項目

- ① 既存の枠にとらわれず、いつも新しいアイデアを追求しよう。
- ② 広く好奇心を持ち、いろんなことに飛び込んで行こう。
- ③ 互いの個性を受け入れ、どんどん意見をぶつけ合おう。
- ④ 一度やると決めたことは、情熱を持ってやり遂げよう。
- ⑤ だれかを驚かせ、喜ばせ、ワクワクさせよう。
- ⑥ 未来の社会に役立つものを生み出していこう。

紹介者

ひなのりこ
日名徳彦さん

広州倉福塑料有限公司
品質・技術部
(1991年クラボウ入社、2018年より現職)



真面目で物静か、 だけど改善となると熱く、突っ走る

当社は主に自動車シートのクッション材と表面の生地を一体成形するフレームラミネート加工を行っており、陶さんは工場全般の機械整備、管理を担当しています。彼は、普段は少し物静かですが、生産性向上やコスト削減の面では、新しい情報を取り入れて、今の設備改善に生かせる提案を数多くしてくれるなど、改善提案に対する意気込みと情熱は素晴らしいものがあります。

例えば以前、フレームラミネート加工に用いるバーナーの火力が微調整できず、担当者の勤頼りになっており困っていたのですが、彼が部品を足して自ら機械を改良するなど試行錯誤し、火力の微調整ができるように改善してくれました。それだけではなく、ガスの設定表なども作成し、見える化を実現。とにかく現場スタッフの声を聞き、改善策を考え、その後の使い方

で、きちんと指導してくれる陶さんは、率先してみんなの意識を高めてくれます。

普段から情報収集に熱心な彼の提案で、2020年の工場移転の時には、国際情勢から重油価格が上がることを予測し、ボイラーを重油から天然ガスに切り替えました。おかげでコスト削減につながりました。コスト意識も高い人ですが、「この機械を入れてみたい!」と、すぐには実現できそうにない高額な設備投資の提案が突然あるので、油断できないことも(笑)。しかし、それも工場をもっと良くしたいと思う気持ちがあったもので、中国語を話せない私が、仕事の話になると陶さんと通訳抜きで話をしており、仕事への思いは言葉の壁を越えますね。



陶さんがバーナーの火力を微調整できるように改善したフレームラミネート加工の機械

面白がりポイント

工場の設備改善に関して常に考え、
新しい情報を取り入れ情熱を持って取り組む実行力

広州倉福塑料有限公司はこんな会社です!



広州倉福塑料有限公司は中国の広東省広州市に立地しています。当社はウレタンを使用して主に自動車シート材や内装材などで使用されるフレームラミネート加工・裁断加工・縫製・チップモールド加工を行っています。今後も中国市場で生産・販売の基盤を作り、顧客から信頼される会社を目指していきます。